



NPO-JCC主催



特定非営利活動法人(NPO)
日本キャリア・カウンセリング研究会
人と組織の新たな共生をめざす

国重浩一先生 特別講座 (オンライン開催)

～組織、コミュニティ、個人の変革につながる
ナラティブ実践～

【開催日時】 2026年 1月24日(土) 10時～17時 (Zoom)

【講師】 国重浩一先生 ナラティブ実践協働研究センター(NPCC)所属

【当日参加費】 一般: 15,000円(税込)、JCC会員: 13,000円(税込)

【録画視聴コース】 視聴期間: 編集終了公開後から1か月

参加費: 一般: 15,000円(税込)、JCC会員: 13,000円(税込)

【お申込】 Peatixサイト(<https://jcc25na1.peatix.com>)

または JCCのホームページ(<https://npo-jcc.org/>)からお申込みください。

【講座概要】

オーストラリアのマイケル・ホワイトとニュージーランドのデイヴィッド・エプストンは、心理療法という領域において、ナラティブ・セラピーというアプローチを発展させてきました。

この2人の取り組みは、従来の個人の心理療法の延長上に留まるものではなく、哲学、文芸評論、歴史学、文化人類学、民俗学など、さまざまな領域の叡智を取り入れてきました。

そのため、ナラティブ・セラピーの応用範囲は広く、心理療法以外の領域でも活用されてきました。

その領域とは、調停、修復的实践、組織開発などです。そうすると、「セラピー」という用語ではうまく表現できなくなるので、「ナラティブ実践」「ナラティブ・プラクティス」「ナラティブ・アプローチ」とも表現されるようになってきました。



北大路書房
2025年11月出版

マイケル・ホワイトの亡き後、ダリッチセンターで活動しているデイヴィッド・デ
ンボロウは、「共同的ナラティブ実践」として、グループやコミュニティに取り
組んでいます。

南アフリカのシュネ・スワートは、「世界を再著述する」という著書において、
組織に対して、ナラティブ実践をどのように活用できるのかについても述べ
ています。

組織を意識してナラティブ実践を述べている文献は限られているので、
本書を翻訳する意義があると考え、出版しました。

今回は、シュネ・スワートが述べる「世界を再著述する」から抜粋しな
がら、ナラティブ実践をグループ、コミュニティ、組織にどのようにして活
用することができるのかについて紹介したいと考えています。

【講師紹介】

国重浩一（くにしげこういち）ナラティブ実践協働研究センター所属
ニュージーランド、ワイカト大学カウンセリング大学院修了。日本臨床心理
士、ニュージーランド、カウンセラー協会員。2013年に移民や難民に対する
心理援助を提供するためのニュージーランド現地NPO法人ダイバーシ
ティ・カウンセリング・ニュージーランドを立ち上げる。2019年には東京に一
般社団法人ナラティブ実践協働研究センターを発足。日本キャリア開発研
究センター理事。2023年9月から拠点をニュージーランドから滋賀県大津
市に移す。

著書に、『ナラティブ・セラピーの会話術』『震災被災地で心理援助職に何
ができるのか？』『ナラティブ・セラピーのダイアログ』『ナラティブ・セラ
ピー・ワークショップ BOOK I & II』『もう一度カウンセリング入門』など。

お問い合わせ先 : JCC事務局 電話番号 03-6806-0693

メールアドレス : info@npo-jcc.org ホームページ : <https://npo-jcc.org/>